

「生きる力の育成」

平成23年度指定

「地域PTA活動」

地域と学校と保護者との絆を深め、生きる力を育てる活動

山の田中学校PTA おやじの会

校区内の夜間パトロール。

校内美化作業。

イモを育てて収穫したものを東日本大震災の被災地の気仙沼へ送る。

PTA会長 香川昌則

学校長 藤永悦郎

おやじの会会長 清水浩二

児童数 549名

所在地 〒751-0838

山口県下関市山の田本町8番1号

TEL: 083-252-0488

FAX: 083-252-0974

E-mail: yamanota-chu@edu.city.shimonoseki.yamaguti.jp

1 学校地域の概要

本校の所在地はその名が示すようにかつては田畑が広がる低丘陵地であった。

この地域に開発された住宅団地の中に、昭和44（1969）年新設開校したのが山の田中学校である。

住宅地の広がりに合わせて商業施設も年々増加している。現在では、田畑はほとんどなくなり、下関市域でも有数の住宅商業地域に発展している。校区内には生野小・山の田小の両小学校がある。保護者は給料生活者が多く、子どもの教育にも熱心である。PTA活動や青少年健全育成の諸活動も活発である

○教育目標

『礼節を重んじ、夢の実現を目指す生徒の育成』

○校訓

自主 協力 責任

◎目指す生徒像

自分の夢や目標に向かってすすんで取り組むことができる生徒

友達や仲間と心を合わせて成し遂げることができる生徒

自分の仕事や役割を最後までやりぬくことができる生徒

◎チャレンジ目標

『美・礼・時』

学校の経営方針

明るい活力のある学校をめざして、生徒の自主性を尊重するとともに、全教職員が3つの力（授業力・生徒指導力・連携力）を発揮し、創意と工夫により、知・徳・体・情の調和のとれた学校経営を推進する。

本年度研究主題

『生徒自身が成長する喜びを味わえる指導を目指して』

【山の田中学校 PTA おやじの会】

設立の経緯と経過

平成22年度は、山の田中学校にとって、生徒、教師、父兄共につらい年でした。

校内での喫煙、授業エスケープ、更には授業妨害、教師への暴力行為等々、そんな事態を見るに見かねて、何とかならないのか、何とかできることは無いのかと、いてもたってもおられない親父たちの声が自然発生的に沸きあがりました。

その中で、多数を占めた意見が、わが子が可愛いのは当たり前、自分の子に手を出したら、身体を張って、守り抜く、そんな意見が大半と思いきや、大多数の親父は、異口同音に、『13～14歳で、人生を捨ててどうするのか？一生を棒に振って、それでいいのか？』『いつか、俺らの思いが分かる時がくる、あと少しで卒業じゃないか、卒業したら理不尽なことは、山ほどある、それを今分かれないと言わない、もう少し、我慢する心を育てたい。』『人は何故勉強しなければならぬのか？それは損をしないため。勉強すれば、リスク回避の方法や行動がとれる、人生はリスクマネジメントである。』

さまざまな意見が出てきました、正しく、愛と絆を共感した瞬間でした。

同じ空間と時間を、わが子と若干でも共有した子どもたちに対する、熱い思いがそこにはありました。

そして、その熱い思いが噴漏する中、当時の山の田中学校 PTA の香川昌則会長が代表してその意見を集約して、希望者を募り、「山の田中学校 PTA 親父の会」を発足するに至りました。

実施した事は、授業中の校内の見回り活動、子どもたちへの声掛け挨拶運動、夜間や長期

休業中の校区内及び繁華街の見回り等々、親父たちが懇親を深めながら、活動の輪を広げていきました。

その結果、親父たちの本気、保護者の本気を敏感に察知した子どもたちは、時間はかかりましたが、徐々に挨拶を交わすようになり、荒れていた校内の秩序が、本来あるべき方向に少しずつ、本当に牛歩の如く、修正されていくのを肌で感じた、一年間でした。

今年度も、更に本気の親父たちが、挨拶運動、見回りと声掛け運動そして、気仙沼農園の芋栽培等、できるだけ子どもたちに拘って行きたいと思っています。

そして、何より本来の中学校のあるべき姿に経った一年で戻りつつあることを思うと、喜びや感慨も一入だなど、感じている今日この頃です。



活動方針

山の田中学校の生徒が安心して、勉学にそして、課外活動に全力で励むことの出来る事、そして、規律と歴史と伝統のある中学生として誇りを持って生活できる環境を作り出すお手伝いをする事です。

昨年と比べると、とても落ち着きを取り戻しましたが、これから長期の休業期間を控えて、服装の乱れ、生活態度の乱れ等が起こらないように、学校の内外で目を光らせて見守って行きたいと思います。

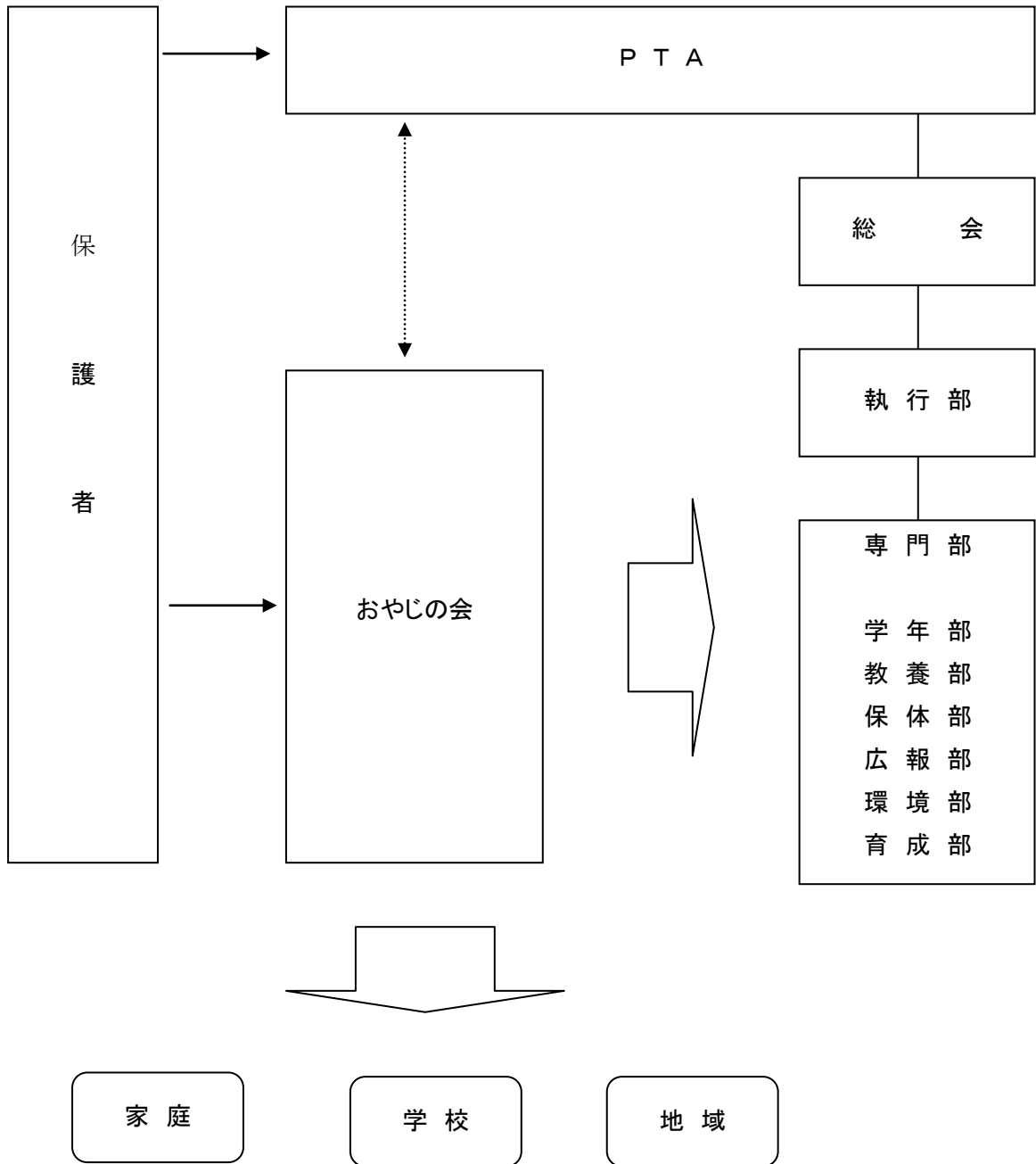
服装の乱れは、即、生活の乱れにつながっています。

具体的には、定期的な校区内の見回りと声掛け運動、一番気の緩む夏休み期間中に開催される、夏祭りの各会場の夜間の見回り、これを PTA で連携して行います。

さらに、夏休み中の不定期な繁華街の見回りを個人的に計画されて実行されている方もいらっしゃいます。親父の会全体で、そして個人で献身的に活動する方針です。

それから、昨年には、無かった活動として、さつま芋を栽培して収穫し、それを気仙沼中学校に送る活動をしています。

<PTA・おやじの会の構成組織図>



活動内容

おやじの会 見回り報告

山の田中学校おやじの会
会 長 清水 浩二

山の田中学校『おやじの会』は、昨年(平成22年度)校内が荒れていたために結成され、定期的に校内の見回りや夜の校区内の見回りを行っておりました。

結成二年目の今年は、昨年活動していた事もあり連絡等もスムーズに行う事ができ、見回りの参加者の確保も容易になり、おやじの会の会員から、昨年行っていた見回りの回数よりも増やした方が良いのでは?との意見もあり、月に一度の見回りを行う事になりました。

5月18日に開催された『第1回山の田中学校おやじの会』で、次回からの見回りを行う計画をたてました。※見回り日は以下のとおりです。

- 第 1 回 見回り 平成23年 6月22日(水曜日) 19:00~20:00
- 第 2 回 見回り 平成23年 7月21日(水曜日) 19:30~20:30
- 第 3 回 見回り 平成23年 8月 7日(日曜日) 20:00~21:00
- 第 4 回 見回り 平成23年 9月 1日(木曜日) 20:00~21:00
- 第 5 回 見回り 平成23年 9月21日(水曜日) 19:30~20:30
- 第 6 回 見回り 平成23年10月18日(火曜日) 19:30~20:30
- 第 7 回 見回り 平成23年11月24日(木曜日) 19:00~20:00
- 第 8 回 見回り 平成23年12月21日(水曜日) 18:00~19:00
- 第 9 回 見回り 平成24年 1月25日(水曜日) 18:00~19:00

※第4回及び第8回の見回りは、近隣の山の田小学校おやじの会及び生野小学校おやじの会との合同見回りを行った。

我々が毎月一度必ず行う見回りによって、生徒や他の保護者の方々には、安心して登校する事ができる『山の田中学校』になった事に微力ながらも貢献する事ができたのではないかと思います。

この見回りには、おやじの会の会員以外にも毎回、中学校の多くの教職員の御方々にも同行していただき、PTAとの親睦を深める事もでき、『おやじの会』の存在が、他の学校行事の際にも役立ったのではないかと考えております。

最後になりましたが、近年荒れる学校がいくつか見られますが、大人たちが本気で子供たちと向き合い、精一杯努力すれば、きっと子供たちは理解してくれるのではないのでしょうか?

今後、他の校区の中学校にも子供たちが道を外れた時に救いの手を差し伸べることが出来る『おやじの会』が数多く立ち上げられること望んでおります。

※添付資料

平成23年5月30日

山の田中学校おやじの会会員 各位

下 関 市 立 山 の 田 中 学 校
おやじの会会長 清水 浩二

『山の田中学校おやじの会』の活動のお願いについて

若葉の候 皆様方におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

先日は「山の田中学校おやじの会」へ入会いただき、ありがとうございました。

5月18日に今年度、第一回の見廻りを行い、年中行事の打合せを行いました。その際に、私、清水(3-1)が今年度の会長に就任させて頂きました。副会長には、兼原さん(2-2)、会計には、佐々木さん(3-1)にお願いし、承諾を頂きました事をご報告致します。

今年度は、まだ生徒達も荒れている様子は無いとの報告を受けておりますが、一ヶ月若しくは二ヶ月に一回は、見廻りを行いたいと思っておりますので、一人でも多くの方々に協力して頂きたいと思っております。

第二回以降の見廻りの日程は下記の通りですので、参加・不参加の回答を、担任の先生に回答欄を渡すか、清水にメール(shimizu21@aw2.mopera.ne.jp)して下さい。

任期の1年間、皆様と共に活動していこうと思っておりますので、ご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

記

- 1、 6月22日(水) 校区内の見廻り
時 間 19:00~20:00 場 所 中学校正面玄関
- 2、 7月21日(水) 校区内の見廻り
時 間 19:30~20:30 場 所 中学校正面玄関
- 3、 8月 日(日) 山の田地区ふれあい盆踊り大会 巡回
時 間 20:00~21:30 場 所 山の田3号公園(ブランコ周辺に集合)
- 4、 8月 日(日) 山の田中学校美化作業 樹木の剪定など
時 間 8:30~10:30 場 所 山の田中学校(正門に集合)
- 5、 9月 日() 生野神社風鎮際 巡回
時 間 20:00~21:30 場 所 生野神社(駐車場に集合)

回 答 欄 保護者氏名 ()

1 2 3 4 5 に参加します(番号を丸で囲んで下さい。)

不参加

山口

とぴく

あれこれ

下関山の田中「おやじの会」

下関市立山の田中学校(藤永悦朗校長、549人)の生徒の父親約30人で作る「おやじの会」が月1回、夜の地域パトロールを行っている。地域住民のつながりが希薄になる中、子どもに寄り添いつつ、時に体を張って「みんなで育てよう」と決起した。【尾垣和幸】

夏休み真っ最中の先月7日、おやじの会の10人と教員4人がいざ、おやじの会と藤永校長は説明きれて蒸れる地元の夏祭り会場を見回った。「こんばんは」「あま遅くまで遊んでちゃいけんよ」。約2時間、近くのゲームセンターも含めて、しゃがみ込

手伝いなど自然な形で、子どもを見てもらう。生徒指導担当の中尾琢磨教諭(47)は「異なる立場の人との絡めの関係がいいのでは」と分析。「教える側、教えられる側」と教諭の『縦』の関係だけでは息が詰まる。



夏祭り会場をパトロールする「おやじの会」メンバー

保護者が増え、役員の大人が必要。ただ一方、引き受け手が減っているからではないか」と言うが、2代目会長、清水浩二さん(38)は「会の結成で大人同士の交流が増え、子どもたちの情報交換も増えた」と期待を込める。ただ、「言うべきは、子どもが悪いことをした時、論してくれる。互いにある程度分かったら、論していい。高

校長 親に協力求め結成

夜には地域パトロール 体張って子に向き合う

んでいる若者たちに声をかけた。昨年4月、中学校側の要望で発足した。当然、学校は暴力事件や器物損壊事件が続いてきた。「隠しても仕方ない。多くの人の目

昔は地域に子どもを見守るおじさんがいたのですが……」と云うて、かつてよくみられた「子ども会」の減少を残念がる。全国子ども会連合会(東京都)によると、加盟する子ども会(小学生)は85年度の15万1891組をピークに減少傾向にあり、10

新 教育の森

九州・山口

全国子ども会連合会 子ども会活動を助成しながら、子どもの健全育成に寄与することを目的に組織された。会員は、45都道府県と12政令指定都市の子どもの会連合組織で、加入者(小中学生)は81年度の約886万人をピークに減少しており、10年度は347万3195人。子ども会が減る中、ジュニアリーダー(中高生)、青年リーダー(大人)の活動を促すことで、各子ども会の横のつながりの連携強化などに努める。



気仙沼中学校との交流

その電話は、突然のものでした。

東日本大震災で、気仙沼からさいたま市のマンションに非難された方から、ある日、隣人の方に相談がありました。

「郷里の気仙沼中学校で生徒に卒業式をさせてやりたいが、津波で流出してしまい、何も残っていない、せめて、詰襟の制服を着せて卒業式をさせてやりたいのですが。」

ところが、さいたま市の制服はブレザーで、詰襟は、ありません。

そのことを聞いた、3件隣の奥さんが、偶然下関市出身でした、郷里には弟さんが居られるので、早速このことを連絡したところ、彼は、山の田中学校の学校教育振興会の会長である杉本さんに連絡、それがすぐに、山の田中学校のPTA会長の香川さんに伝わったのが3月30日、翌日、学校に来ていた、三年生の保護者を中心に、「求む制服」の配布物を渡したところ、20数着の制服が集まり、気仙沼へ送りました。

無事に届いた制服を着用して、無事に卒業式が行われたのは、制服のエピソードを知らなくても、報道等でご存知の方も多と思います。

勿論、お礼の手紙が届きました。下関と気仙沼が細い、細い糸で結ばれた、真実の瞬間でありました。

山口県から派遣された、教育カウンセラーの方が、気仙沼で山の田中学校の制服を着て歩いている生徒がいたが、「どうしたわけか」と、藤永校長に聞いたのだと言う、オチまでついたという次第です。

《サツマイモを栽培して被災地へ送る》

今後更なる交流を図るべく、親父の会では、山の田中学校に第一と第二農園を作り、サツマイモを栽培いたしました。残念ながら、農業には全くの素人の集団でしたので、草取りや、害虫の手作業での駆除等しかできませんでした。収穫についても大収穫とはいきませんでした、何とか段ボールに3箱のサツマイモを生徒有志と共に収穫する事が出来ました。

早速、気仙沼中学校に向けて、丹精込めたイモを発送致しました。

最後に、農園作りに際しては、学校の御配慮の元、栽培に適した土地を二区画も貸与頂きました、更には、収穫に際しては、多くの生徒有志諸君が泥だらけになるにも拘わらず、素手で直接收穫作業を行い、イモを傷つけないように必死になっている姿に私たちおやじの会の会員も熱いものを感じる光景であったことを付け加えておきます。



■新春ゲーム大会

1 共催 山の田中学校おやじの会、生野小学校おやじの会、
幡生地区連合婦人会

2 日時 平成24年1月22日(日) 10:00~12:00

3 場所 幡生宮の下コミュニティ会館



4 目的 子どもの健全育成のためには、学校、地域、家庭の連携が重要ですが、
その中で家庭の役割が基本であることは言うまでもありません。家庭教育
の支援を行なっている婦人会と協力して、子どもたちと遊びながら「食」
について考え、健全な食生活を営むことの大切さを学ぶことを目的として
います。



5 内容 「ぶちうまカルタ」
「食育すごろく」
「ふくわらい」

※ 下関市において、食育推進計画「下関ぶちうま食育プラン」が策定さ
れており、カルタやすごろくで子どもたちと遊びながら「食」を学ぶ
ことができます。

6 参加人数 約35人

7 効果 カルタやすごろくを利用することにより、子どもたちが遊びながら楽しく学
ぶことができました。また、異なる年齢間での遊びや地域の方との交流が
でき、学校とは違った学びと遊びの空間ができて良かったと思います。

